

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	商学部	身分	准教授
氏名	神島裕子		
NAME	Kamishima Yuko		

1. 研究課題

(和文) ロールズ正義論における〈公共的なもの〉の意義

(英文)

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

現代政治哲学において、リベラリズムの礎を築いたジョン・ロールズは、正義にかなった社会の統制原理として「正義の二原理」を提唱したが、「第一原理」に辞書式の優先権が与えられていることから、彼の正義の構想では明らかに、社会的・経済的な暮らしよさよりも、市民的・政治的な諸自由の方に比重が置かれている。この自由の優先権という考えは、『正義論』に対する批判を踏まえた著作『政治的リベラリズム』においても変わらない。このようなロールズのリベラリズムを継承しているアマルティア・センやマーサ・ヌスバウムといったリベラルは、リベラリズムの観点から「アジア的民主主義論」を批判しているが、実際のところロールズは、〈公共的なもの〉のために、市民的・政治的諸自由が規制されることを認めている。本研究では、ロールズの『政治的リベラリズム』の精読および関連文献の講読を通じて、〈公共的なもの〉を理由とする市民的・政治的諸自由の制限が是認されうるということを明らかにすることができたと同時に、シンガポール国立図書館における資料収集を通じて、ロールズの〈公共〉概念が歴史文脈的なものであることを踏まえるならば、彼のリベラリズムのなかに「アジア的民主主義論」を受け入れる余地を見いだす可能性があることも明らかにすることができた。

(英文)

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>Yuko Kamishima, "Achieving Global Justice through Business: A Rawlsian Philosophical Base", XXIII World Congress of Philosophy, National Kapodistrian University of Athens, Greece, August 2013.</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>ジョン・ロールズ『政治的リベラリズム』（福間聡・神島裕子訳）筑摩書房、2013年（予定）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>